

百人一首 (うたばんごう 歌番号:71~75)

<p>契りおきし させもが露を 命にて あはれ今年の 秋もいぬめり</p> <p>藤原基俊</p> 	<p>憂かりける 人を初瀬の 山おろしよ はげしかれとは 祈らぬものを</p> <p>源俊頼朝臣</p> 	<p>高砂の 尾上の桜 咲きにけり 外山の霞 立たずもあらなむ</p> <p>権中納言匡房</p> 	<p>音に聞く 高師の浜の あだ波は かけじや袖の ぬれもこそすれ</p> <p>祐子内親王家紀伊</p> 	<p>夕されば 門田の稲葉 おとづれて 蘆のまろやに 秋風ぞ吹く</p> <p>大納言経信</p> 
<p>あわれこと しのあきも いぬめり</p>	<p>はげしかれ とはいのら ぬものを</p>	<p>とやまのか すみたたず もあらなん</p>	<p>かけじやそ でのぬれも こそすれ</p>	<p>あしのまろ やにあきか ぜぞふく</p>